

在京石鳥谷 町人会だより

(題字 旧石鳥谷町長 高橋公男氏)

連絡所：在京花巻ふるさと会事務所
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル 603号
TEL:03-6256-8082 FAX:03-6256-8083
事務局：高橋弘美
〒270-0127 千葉県流山市富士見台
1-10-40
携帯 080-5529-8803



八幡田んぼアート 宮沢賢治「やまなし」 写真提供：横田 忍様

【2021年 行事予定】

11月 7日(日) 令和3年度 在京石鳥谷町人会 総会・親睦交流会

(本年はコロナ感染拡大を考慮し中止と致しました。)



(在京石鳥谷町人会HP)

ごあいさつ

在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美



会員の皆様こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましては、コロナ禍が一向に収まらず閉塞感のある中においても健康にご留意されきつとお健やかに過ごしのことと思います。

東京オリンピックでの日本人選手大活躍の興奮が冷めやらぬこの時期、本来であればその余勢をかって2年振りの総会・親睦交流会開催のご案内を華々しく差し上げるどころでしたが、大変残念ながら昨年に続き今年度も開催を見送ることと致しました。

2年連続での見送りは全く思いもよらない事態であり残念至極の至りであります。なにより心配なのはふるさとの皆さんとの交流が2年間でなくなってしまうことです。在京石鳥谷町人会は首都圏在住者とふるさとの皆さんとの交流を深めることを第一目的とする団体として発足しました

ので、本来の活動ができないのは本当に辛い事があります。こうした状況において少しでもコミュニケーションの向上を図る方策はないものかとみんなで考えた結果、在京石鳥谷「町人会だより」を活用して、「ふるさとの今！ 2021 夏!! 」と題して、石鳥谷町の6つのコミュニティの近況の写真とメッセージを会員の皆様に紹介する事と致しました。なつかしいふるさとの香りが満杯の企画です。併せて当会の運営を担当している役員やその役割を紹介することで交流促進の一助になるのではと考え本号を企画した次第です。

ご覧になりなつかしく思われた方はこの機会に是非ご実家や親戚・友人に連絡してみたいかがでしょうか。寄稿して頂いた石鳥谷地区各コミュニティの皆様にはご協力頂き大変ありがとうございました。

総会・親睦交流会の開催ははまだ、ままなりませんその他の活動については着実に進めて会員の皆様のご期待に沿えるよう頑張っております。

どうか引き続き在京石鳥谷町人会の活動にご協力・ご支援下さりますようお願い申し上げます。

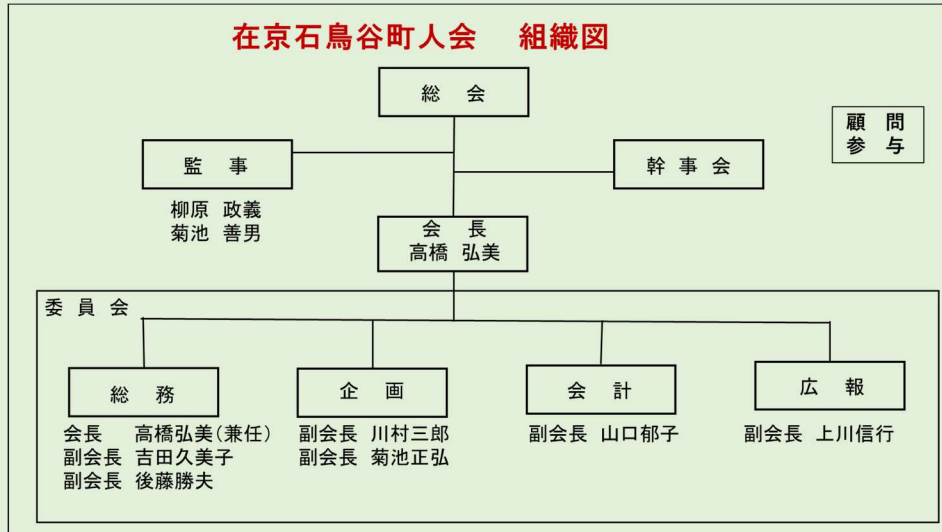
在京石鳥谷町人会の組織について

在京石鳥谷町人会を運営・管理する組織についてご説明するとともに各委員会の責任者の方々から活動内容のご報告を頂きました。また、委員会の人事に異動があり、本来であれば総会で承認を頂いてからと考えておりましたがコロナ過で総会も開催できず、令和3年3月の幹事会で人事異動について、承認を得ましたのでここにご報告いたします。

【異動役員】

退任： 企画 副会長 佐藤 忠男
 会計 副会長 山口 建
 広報 副会長 飯塚 悦子

新任： 企画 副会長 菊池 正弘
 会計 副会長 山口 郁子
 広報 副会長 上川 信行



在京石鳥谷町人会 役員一覧

総務	企画	会計	広報
会長 高橋弘美*	副会長 川村三郎	副会長 山口郁子	副会長 上川信行
副会長 吉田久美子	副会長 菊池正弘		幹事 草間 マサ子
副会長 後藤勝夫	幹事 板垣幸雄		幹事 佐々木ミツ子
幹事 藤原富蔵	幹事 佐藤 修		幹事 櫻井サト
幹事 大原公司	幹事 菊池勝江		幹事 下川友子
幹事 荒瀬 富姫子			

監事	顧問	参与
柳原政義 菊池善男	後藤 栄	河嶋 稔 大竹雅夫 飯塚悦子 山口 建 佐藤忠男 伊藤精司

(*兼任)

【総務 吉田副会長】

こんにちは、新堀出身の吉田久美子(旧姓藤原)です。総務副会長として10年たちました。在京石鳥谷町人会を最優先と考えて行動して参りました。趣味は水泳、フラダンス、俳句、マスク作りと色々楽しんでおります。地域活動は赤羽消防団の一員として救急救命の普及をしており、町会婦人会の役員もしております。在京石鳥谷町人会は故郷を大切に思う人が多く、絆がとても強く、石鳥谷に帰った感じがする場があります。世代、地域を越えて思い出の時間が過ごせる、どこよりも素晴らしい、ふるさと会であると感じております。

【役割】

- ・在京石鳥谷町人会会員名簿管理
- ・幹事会(5回/年)の会議室確保、議事録作成
- ・総会案内状の宛名ラベルシール作成、発送作業

総務の仕事は高橋会長が全般を執り行っており、私はその補佐役としてこまごました仕事を担っており、高橋会長の作業を少しでも減らせたらと考え、頑張っています。会員の皆様、お知り合いの方で石鳥谷町出身者の方をご存じでしたら一声掛けて下さい。宜しくお願い致します。



【企画 川村副会長】

好地地区上口出身の川村三郎です。

毎年在京石鳥谷町人会の総会・親睦交流会をメインテーマに、会員の募集と交流を企画し、故郷、石鳥谷町との密なる交流を推進しております。特に、お酒を酌み交わしながらの親睦交流が大好きです。

【役割】

- ・総会・親睦交流会、季節毎の交流プラン企画、実施
- ・近隣ふるさと会との交流企画
- ・石鳥谷町総合支所との情報交換会、石鳥谷町の行事へ参画
- ・年度毎の事業実績記録
- ・会則の管理

会員の親睦交流が大きな役目なのですが、会員の減少を食い止める為、若い方々への募集案内が急務で、案内をする為の情報を集めなければなりません。ふるさととの連携を中心に会員募集をしていきますが、新規会員の勧誘も必要だと考えています。よろしくお願い致します。

**【会計 山口副会長】**

会計を担当している新堀出身の山口郁子と申します。平成18年、花巻市と3町が合併されてからの手伝いになります。早いもので15年が過ぎました。同郷の主人、前任の山口建の補佐を受けながら担当しています。会を通してふるさとを身近に感じています。よろしくお願いいたします。

【役割】

- ・町会の通帳と出納帳管理
- ・年会費の管理
- ・花巻市への補助金申請と報告
- ・町会の決算と予算作成
- ・総会・親睦交流会の収支作成

正しい会計、迅速な精算。コロナ禍、上野精養軒での今年の総会・親睦交流会の開催は残念ながら見送られましたが、実現の折は皆さまを受付でお待ちしております。

**【広報 上川副会長】**

八幡出身の上川です。在京石鳥谷町人会だより26号から故川村政義編集長の後を引き継いでおります。趣味で南米アンデス音楽フォルクローレの演奏活動も行っており、自称芸能部門？も担当しています。

【役割】

- ・在京石鳥谷町人会だよりの年2回発行
- ・在京石鳥谷町人会総会資料作成
- ・ホームページ作成・運営管理

現在、コロナ過で行事が出来ない状況で、情報発信したくても情報が無い状態です。また取材活動もかなり制限されており、動きが取れない状況です。一刻も早くコロナ終息を願うと共に、そのような状況下での石鳥谷町、会員の皆さんの生活ぶりが伝えられたら良いなと考えています、今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。



『 ふるさとの今！2021夏！ 』

コロナ禍で石鳥谷町への帰省が出来ず2年目の夏を迎えました。故郷の様子を少しでも伝える事が出来たらと思い、各地区協議会・コミュニティ様に写真とメッセージをお願い致しました。ご協力頂き誠にありがとうございました。(掲載順不同)

【八重畑コミュニティ協議会】

子ども登山教室 権現堂山 頂上より
緑が青々と映え、自然豊かでとても絶景です。



令和3年7月3日 八重畑・二枚橋方面

【好地地区まちづくり委員会】

石鳥谷肥料相談所跡
(現在賢治塚の根)



会長 大竹 佐久子 様からのメッセージ

石鳥谷町人会の皆様、コロナ禍で自由を奪われ、故郷への帰省もままならない中いかがお過ごしでしょうか。私は、この度八重畑コミュニティ協議会会長に就任いたしました大竹と申します。在京石鳥谷町人会の皆様の郷土愛については色々伺っておりましたので、お目にかかる機会を楽しみにしております。

とはいえ、ここ岩手もコロナ感染拡大傾向にあり、ほとんどの行事は中止となり自粛をしている現状です。それでもコミュニティの事業は、地域のりんご農家の方の協力を得て小学生と年間を通した「りんご丸かじり事業」、「子ども登山教室」、「ゲートボール大会」など様々な工夫をして開催しております。

会長として、微力ながら地域の方たちが少しでも楽しんで生き生きと暮らせる事を第一に考え行動していきたいと思っております。石鳥谷町人会の皆様との交流もその一つです。

一日も早くコロナが終息して笑顔でお目にかかれることを祈念して挨拶いたします。

会長 藤舘 茂 様からのメッセージ

在京町人会の皆様におかれましても、辛抱の日々をお過ごしかとお察しいたします。

東京オリンピック閉会式での宮沢賢治先生作詞作曲「星めぐりの歌」には胸が熱くなりました。「雨ニモマケズ」や「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」の精神を、日本文化の『無限のやさしさと思いやり』と共に、今だからこそ必要な事として発信できたと思っております。

好地には、昭和3年3月先生が無償で応じていた石鳥谷肥料相談所跡(現在賢治塚の根)があり、当時先生が「石鳥谷の人たちはみんな質がいい」と褒めてくださった方々のひ孫の年代が町の主役です。夏の間、相談所跡の南の夜空に「赤い目玉のサソリ(座)」が燦然と輝き幻想的な空間を演出しています。

結びにうれしいニュース。オリンピック閉会式同日、東北中学校大会陸上競技男子共通 400mリレーで石鳥谷中学校が優勝しました。ふるさとに東北一速い中学生が居ます。

【八幡まちづくり協議会】

令和3年度八幡 田んぼアート「やまなし」



会長 伊藤 成子 様からのメッセージ

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く終息に向かい、皆様にお会いできるのを心より楽しみにしております。

【八日市地区コミュニティ会議】

八日市運動公園(旧八日市小学校の校庭内)



会長 八重樫 康治 様からのメッセージ

岩手も毎日暑い日が続いていますが、稲穂も順調に育っております。
新型コロナの問題で、不自由な日々が続いておりましたが、八日市地区の方々も、花壇の整備などで協力し合い頑張っています。

【大瀬川活性化会議】

大瀬川地区の田んぼから黒森山と三つ鞍山を望む。連日の猛暑で稲の生育が進み8月初旬には穂も出揃い花が咲きました。今年の稲刈りは早まりそうです。



会長 熊谷 秀夫 様からのメッセージ

大瀬川の夏は連日 35℃前後の猛暑が続いています。昨年に続き新型コロナウイルスの影響で楽しみにしていた夏の行事が行われませんが、来年こそは全てが上手くいくことを願ってやみません。そして会員皆様と元気にお会いできることを楽しみにしております。

【新堀地区コミュニティ会議】

令和3年8月3日 稲穂と戸塚森米田くんと新幹線(新堀1区、7区) 稲が開花し始めました



会長 高橋 公男 様からのメッセージ

コロナの収束は見えませんが、こちらでは高齢の方から順次ワクチン接種が進み、連日 30℃を超える暑さの中で農家の方々が農作業に精を出しております。稲も写真のとおり元気に育っております。

在京石鳥谷町人会 会員のなんでも(寄稿、写真、思い出..)掲示板



コロナとオリンピック

東京都世田谷区

八日市出身 櫻井 サト



昨年から新型コロナとの戦いに世界中が不安におののき、故郷との交流会を楽しみにしておられる会員の皆様には今年こそはと注目しておられることでしょう。そしてやっとオリンピックが開催され、テレビ観戦だけではつまらないので、近場にある馬術競技場の外壁からオリンピックの様子を見えたらと思い、出掛けてみましたが何も見えないようにガードしておりました。

高い観客席の上には各国旗がなびいているだけで、残念な競技場でした。

オリンピック聖火リレー通過見学も中止。ビーチバレーのチケットも無駄になりテレビ観戦だけではつまらないので意を決しブルーインパルスだけでもと思い1時間前に通過時刻が報道されキャロットタワー26階まで駆けつけました。見える場所は、人々の頭で五輪カラーの雲が少し見えただけでした。少しでもオリンピックに触れたいと会場のまわりはコロナ感染を心配しながら、人々は右往左往しています。その結果また感染者増加となるオリンピックになるのではと、心が痛みます。



我が家のある日の献立

埼玉県入間市

八重畑出身 草間 マサ子



只今は、2回目の東京オリンピック開催中です。コロナウイルスの先が見えないこの頃です。

ワクチン接種を2回受けましたが副反応は有りませんでした。

我が家の好きな献立を紹介します。

- ① 万能ねぎの帽子に隠れているのは何でしょうか？イカと大根おろしサラダです。水切りしたおろし大根に刺身用のイカを乗せ、周りにマヨネーズと醤油をかけ、万能ねぎをのせたものです。簡単で美味しいですよ！！試してみてください。
- ② ぬか漬けは、友人から頂いたぬか床で百年以上経っている物です。もうヌカは昔のものなので無いと思いますが..美味しいです。
- ③ 自家製の海苔佃煮です。添加物もなく味の調整も出来るので、昭和の時代から作っております。

それがら……？

千葉県木更津市

八幡出身 柳原 政義



私のお袋方の祖母は昔語りが上手く、泊まりに行った時はいつも寝床に入ってから聞かせてもらったものであった。

祖母はたくさんの昔話を知っており、よく頭に入っているものだと感心したものだ。しかし、聞き手は私ばかりでなく従弟達数人がいるものだから、聞いたことのある話には従弟がふざけて話の先を言って祖母を困らせていた。

祖母の凄いところは、従弟がいると「それがらの〇〇」と話を従弟に変えてしまうのでした。その昔話がなんとも新鮮で面白く「それがらのウサギとカメ」とか「それがらの桃太郎」等たくさんのレパートリーを

もっていた。いつだったか復興支援ツアーの帰りのバスで、祖母の得意としていた「それがらのウサギとカメ」を語ったことが先日のように思い出します。

中にはあまり面白くないのがあり、それが「それがらの鶴の恩返し」でした。今思えば、孫達よ脱線するなよな、との願を込めていたように思う。鶴に逃げられた主人公の名前が孫達の名になるので自分の名前でない時は面白くないのだが、何か引っ掛かるところがあり引き込まれるのでした。

それは、「恩返しの鶴に逃げられた政義はな……」とか、鶴は従妹の名で「裕子鶴」にしてしまうとか。物語は政義をなんとかしようとするのだがどうしたらいいのか決まらない。何より諦め切れなくて焦りになっているようで、まずは鶴を探しに出かけたんだと。昔このあたりにも鶴がたくさん住んでいて鶴池とか鶴田という地名や鶴子堤というため池があるほどだったそう。鶴のたまり場で裕子鶴らしい姿を見かけ、あの羽が痛んでいるのは裕子鶴に違いないと声をかけるのだが一向に振り向いてくれずがっかりしましたと。

ここでばあさんが俺たち孫に「なんで裕子鶴は逃げたのか？」と質問するのです。

我々はあれこれ悩み、必死に考え、答えました。

「見るなという約束を破ったから……」

「タダで手に入った高価な反物に疑いを持たなかったから……」

「助けたことに驕りが起きたから……」

従妹の答えは女らしく突拍子もないもので

「お嫁さんにしなかったから！！」と答えたら

婆さんは大笑いして自分の考えているオチを変更したようで

「政義はこのように叫んだとさ……嫁にするがら戻ってこい！」

それがら……鶴は人間に変化(へんげ)して仲良く暮らしたんだとさ。



どっとはれ

【編集後記】



コロナ過の2年目の夏を迎えた「枝垂れの梅ちゃん」令和3年7月30日の姿です。総合支所・地域振興課様から写真頂きました。本年はコロナで行事ができませんでした。石鳥谷だよりの発行も記事がないと悩んでいました。取材に石鳥谷に行こうと意を決し打診したところ、緊急事態宣言で……と3回目の取材断念、しかし各地区の皆さんのご協力で石鳥谷町の「今」を伝える事ができました。ありがとうございました。

次回は取材に伺います。求！現地コーディネーター！！宜しくお願いします。

問合せは hola_borrachos@yahoo.co.jp

(編集長) 上川 信行

